

## 佐渡米未来プロジェクト穂肥指導会資料

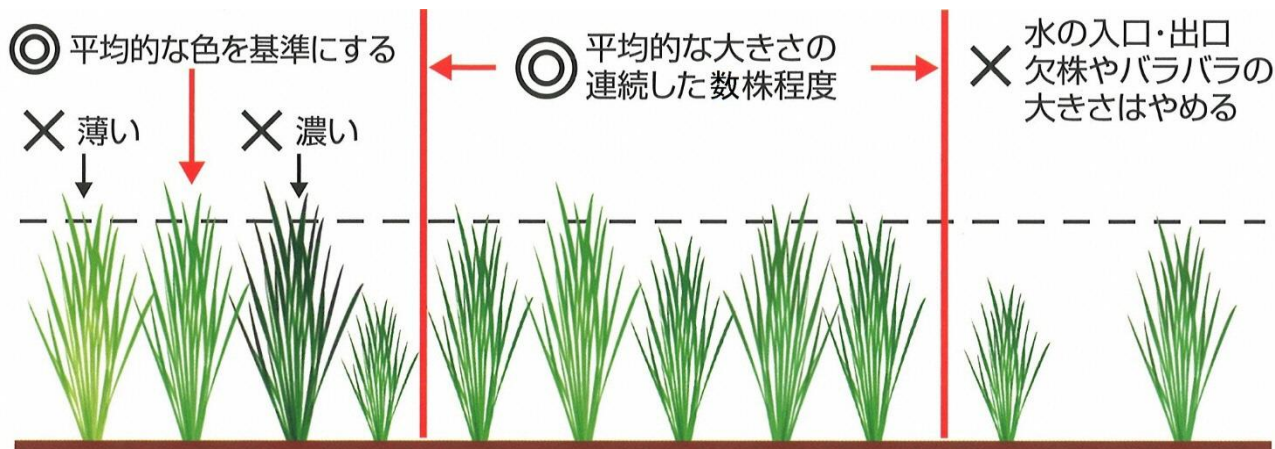
中干しによって太くなった茎に大きく充実した籾をつけるため、稲の状態をよく観察し、適期適量の穂肥施用を行いましょう！

### 1. 穂肥前の生育診断

同じ品種でも田植え時期、植え傷みの程度、苗質、地力の違い、施肥管理などで出穂期、また穂肥の散布量が変わってきます。穂肥散布の前に必ず生育診断を実施しましょう。

※前年倒伏した人は要注意！！！！

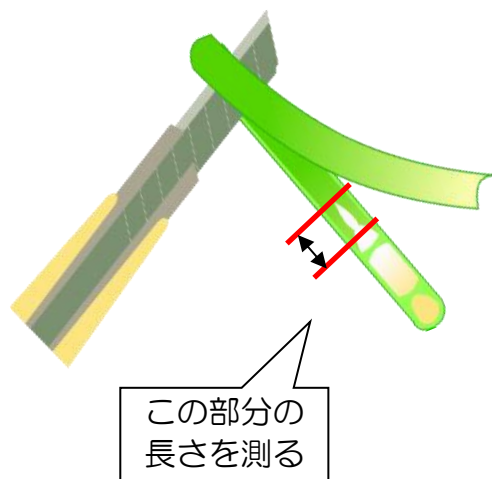
☆まずは生育診断する株を決めましょう！☆



(1) 穂肥時期（出穂前日数）を把握するため幼穂長を測定する

#### 幼穂の測り方

- ① 平均的な生育の株を選ぶ
- ② 株の中で一番長い茎を選び株元から抜く
- ③ カッターで半分に裂き、一番上がっている節の上にある幼穂の長さを測る。

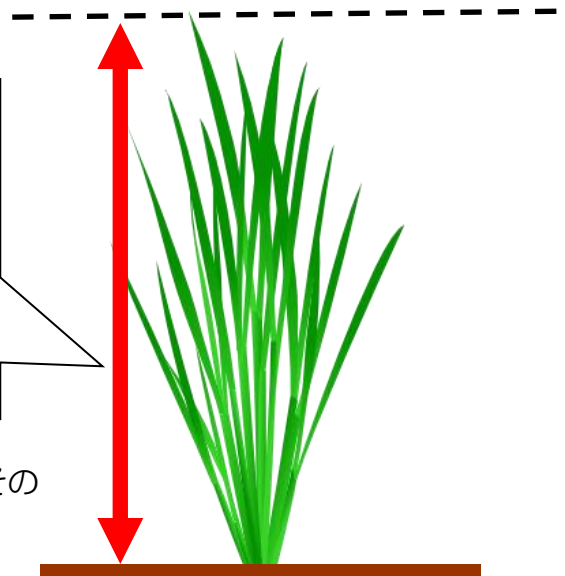


## (2) 穂肥散布の有無、穂肥量を決めるため草丈・葉色を測定する

### 草丈の長さの測り方

- ①垂れている葉を垂直に起こす
- ②田面から葉の先端までの長さを測る

☆自分の股下の長さを知っておくと、稲のおおよその長さを知ることができます。



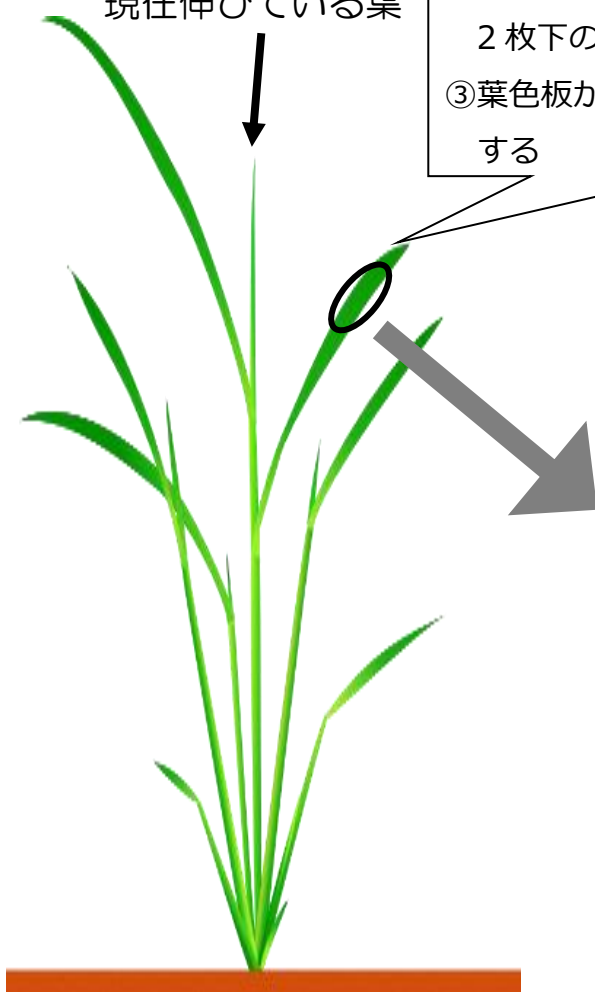
### 葉色の測り方

現在伸びている葉

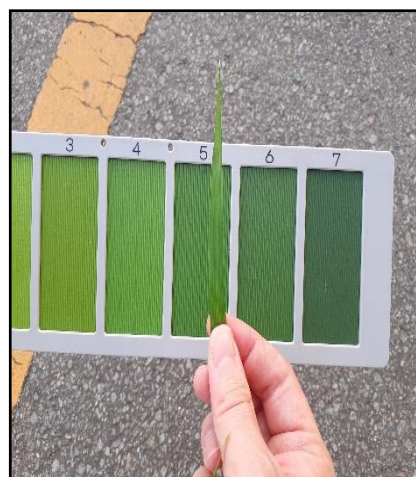
- ①平均的な生育の稲で最も長い茎を選ぶ
- ②その茎の中で、現在伸びている葉の2枚下の葉を選ぶ
- ③葉色板から1cm程度離して色を比較する



CHECK! (Youtube)  
SPAD の使い方 初級編



○葉緑素 (SPAD)  
で測る場合は葉  
の中央の太い葉  
脈部分を測らな  
いよう注意しま  
しょう。



○葉色板で測る  
場合は葉色板  
から葉を1cm  
離して、直射  
日光があたら  
ないように測  
りましょう。

## 2. 穂肥施用の判断（分施肥系）

- 穂肥は登熟を良好にし、品質・収量を安定させるために重要な作業です。
- 穂肥は2回に分けて実施しましょう。

**1回目→「草丈・葉色を調査診断し慎重に実施」**

**※ 曇天や雨が長期に渡る場合、草丈が伸びやすいため減肥する**

2回目→「後期栄養を考え確実に施用」

### (1) 幼穂長と出穂前日数のめやす・基本の施肥量 kg/10a

| 出穂前<br>の日数<br>(日前) | 幼穂の<br>長さ<br>(cm) | 穂肥のタイミング および 穂肥の 10a 基本施肥量                   |         |                                      |                          |
|--------------------|-------------------|----------------------------------------------|---------|--------------------------------------|--------------------------|
|                    |                   | コシヒカリ                                        | 分施      | 一発基肥                                 | こしいぶき                    |
| 25                 | 0.1               | 1回目 味好2号 の場合                                 | 窒素1.0kg |                                      |                          |
| 23                 | 0.2               | 1回目 みらい有機831 の場合                             | 窒素1.0kg |                                      | 1回目(化成肥料)<br>窒素1.0~1.5kg |
| 20                 | 0.5               | 1回目 越後の輝き有機50 の場合<br>※ 5割減減の化学窒素量を超過しないよう注意！ | 窒素1.0kg |                                      |                          |
| 18                 | 1.0               |                                              |         |                                      |                          |
| 14                 | 3.0               |                                              |         |                                      | 2回目(化成肥料)<br>窒素1.0~1.5kg |
| 12                 | 5.0               | 2回目 味好2号 または<br>みらい有機831 の場合                 | 窒素1.0kg | SPAD値30以下、<br>葉色版3.3より薄い<br>場合、施用が必要 |                          |
| 10                 | 8.0               | 2回目 越後の輝き有機50 の場合<br>※ 5割減減の化学窒素量を超過しないよう注意！ | 窒素1.0kg |                                      |                          |

⚠ 注意 上記は下表 ○ 印の生育に該当する場合の量です。

実際の施肥量は下表を見ながら生育に合わせて調整してください。

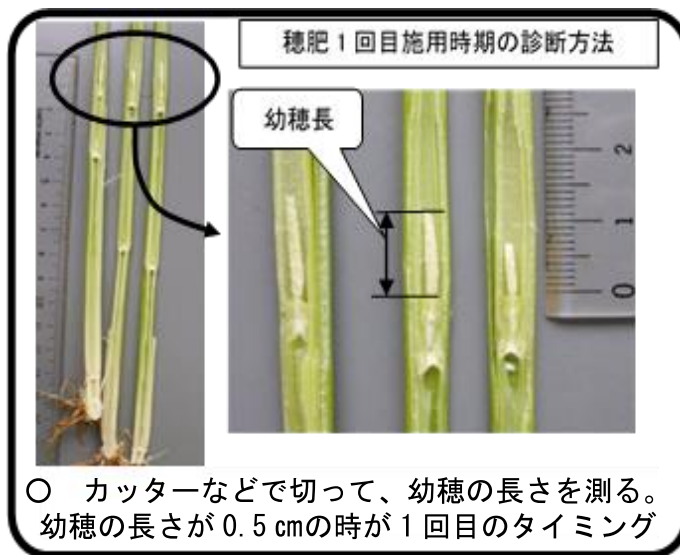
### ○コシヒカリ 1回目穂肥の判断（出穂 20 日前）

| 草丈<br>葉色<br>(単葉) | 上段SPAD/下段カラースケール |         |         |
|------------------|------------------|---------|---------|
|                  | 33より薄い           | 33~36   | 36より濃い  |
|                  | 3.5より薄い          | 3.5~3.8 | 3.8より濃い |
| 75cm<br>より長い     | △                | △       | ×       |
| 75cm~<br>70cm    | ○                | ○       | ▲       |
| 70cm<br>より短い     | ☆                | ○       | ▲       |

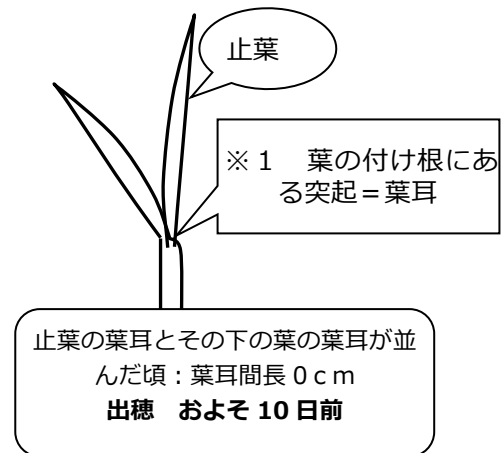
#### 《表の見方》

- ⇒ 窒素成分で 1kg/10a 施用
- △ ⇒ 施肥量を減らす  
(窒素成分で 0.5~0.8kg 施用)
- ▲ ⇒ 施用時期を遅らせる
- × ⇒ 1 回目は施用しない
- ☆ ⇒ 施用時期を早める





止葉がでてきたら葉耳※<sup>1</sup>間長で予測できます  
(2 回目の穂肥タイミング)

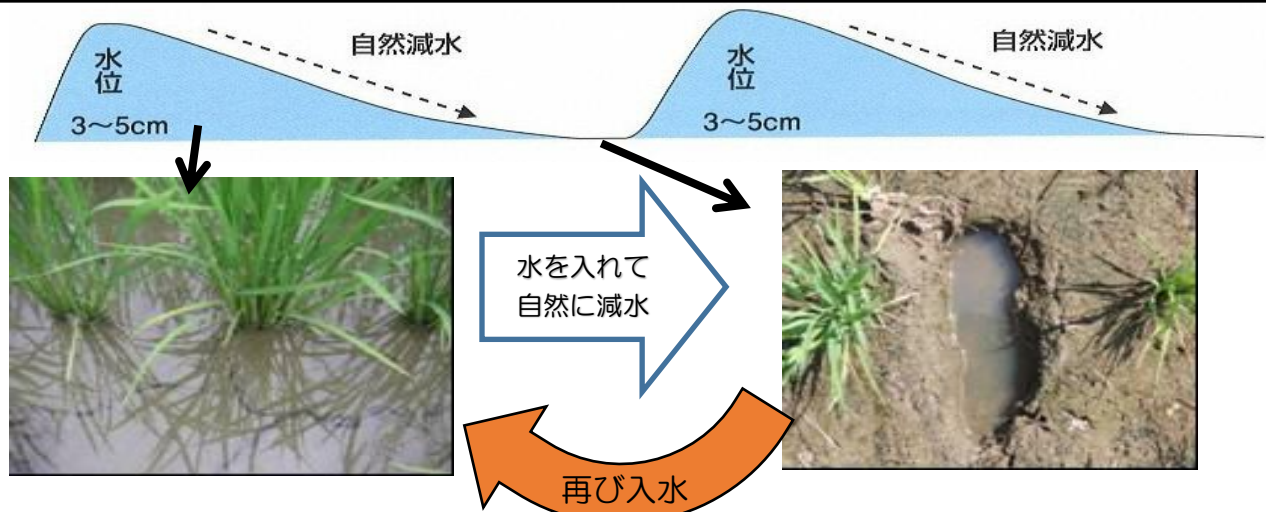


## (2) 穂肥の特徴について

| 肥料名        | 越後の輝き 有機50穂肥            | みらい有機831                                              | 味好2号                                                  | 越後の輝き ソイル米スター                                  |
|------------|-------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 袋姿<br>(規格) | (20kg)                  | (20kg)                                                | (20kg)                                                | (15kg)                                         |
| 特徴         | 化学窒素の割合が多いので、早めに吸収されます。 | 100%有機由来なので分解吸収までに時間がかかり、早く施用する必要があります。分解が味好よりやや早い。   | 100%有機由来なので分解吸収までに時間がかかり、早く施用する必要があります。               | ケイ酸30%、加里7% 中間追肥ができなかった方、何を施用しようか迷っている方にお勧めです。 |
| 使い方        | 化学窒素量10kg<br>あたり0.57kg  | 1回目穂肥の場合は出穂23日前頃の施用が目安。<br>2回目は遅くとも出穂10日前までに散布してください。 | 1回目穂肥の場合は出穂25日前頃の施用が目安。<br>2回目は遅くとも出穂12日前までに散布してください。 | 加里は葉(光合成)で作られた栄養の転流を促し、7月中旬頃まで施用適期となります。       |

## 3. これからの水管理のポイント

水尻は止水し、自然減水で田面に水がなくなり、水や足跡の底に水がたまっている箇所が散見される状態になったら「かん水」する、**飽水管理**を実施しましょう



自然に減水し、溝や足跡だけに水がたまっている状態になったら、再び 3~5cm 入水します。

生育診断（草丈と葉色を測り）に基づいた適期・適量の穂肥施用で後期栄養を確保しましょう！

# 葉緑素計 貸出し 開始します！



水稻の穂肥量の判断に活用できます。使い方は簡単です！ほ場のクセを数値で把握できるので大変便利です。

各営農窓口にて葉緑素計（SPAD）の貸出しをいたします。

※貸出し可能台数は各事業所 1 台ですので、事前に TEL にて申し込みをお願いいたします。

## 貸出対応期間

**令和 5 年 7 月 10 日～8 月 10 日まで**

※なるべく多くの方にご利用いただきたい為、貸出し日当日返却とさせていただきます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※貸出しの際は各営農窓口にて簡単な貸出し記録簿の記入をいただきます。

お問い合わせ先 各事業所営農農機課または

営農振興課 TEL 63-3106